公益財団法人日本アレルギー協会
平成 23 年度事業概要報告書

（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

本　　部　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究助成事業	
1）自由課題研究助成	
(1)「NKT 細胞および Th2 細胞によるアレルギー制御機構の解明」	中山俊憲（千葉大学大学院医学研究院） 研究期間：平成 23 年 5 月～平成 24 年 4 月）
(2)「コントロール不良成人喘息患者に対するブデソニド / ホルモテロール配合剤 160/4.5 μg 製剤 4 吸入 / 日固定用量および 2 吸入～ 8 吸入 / 日用量調節投与 12 週間後の有効性を検討する非盲検無作為化並行群間比較試験」	長坂行雄（近畿大学医学部堺病院総合内科） 研究期間：平成 23 年 8 月～平成 24 年 7 月
(3)「成人喘息患者のコントロールレベルにおよぼす室内環境アレルゲンの暴露および感作状況の影響」	白井敏博（静岡県立総合病院） 研究期間：平成 22 年 7 月～平成 24 年 5 月）
(4)「ウイルス感染を伴う乳幼児急性気管支炎における β_2 刺激薬を用いた臨床試験」	吉原重美（獨協医科大学） 研究期間：平成 23 年 5 月～平成 23 年 12 月）
(5)「小児気管支喘息児の発作時吸入ネブライザーにおける β_2 刺激薬の投与量と有効性及び安全性の検討」	山口公一（同愛記念病院小児科） 研究期間：平成 23 年 6 月～平成 23 年 12 月）
(6)「成人喘息の治療における Step down の指標に対する検討」	釣木澤尚実（国立病院機構相模原病院） 研究期間：平成 23 年 9 月～平成 26 年 6 月）
(7)「モストグラフの研究」	田村　弦（仙台気道研究所） 研究期間：平成 23 年 9 月～平成 24 年 9 月）
(8)「小児気管支喘息患者に対するブデソニドタービュヘイラーによる臨床効果～ JPAC と保護者満足度の検討～」	吉原重美（獨協医科大学） 研究期間：平成 23 年 3 月～平成 24 年 3 月）
(9)「コントロール良好に至らない軽症持続型成人喘息患者に対するブデソニド / ホルモテロール配合剤およびロイコトリエン拮抗薬 + 長時間作用性 β_2 刺激薬貼付剤の効果の比較検討（無作為化非盲検並行群間試験）」	松本智成（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター臨床研究部） 研究期間：平成 23 年 6 月～平成 23 年 10 月
(10)「ICS/LABA 合剤（シムビコート®とアドエア®）の気管支喘息患者における末梢気道炎症抑制効果の比較検討」	大林浩幸（JA 岐阜厚生連東濃厚生病院） 研究期間：平成 22 年 5 月～平成 24 年 4 月）
(11)「ICS でコントロール不十分な乳幼児喘息患者における SFC の有効性検討」	吉原重美（獨協医科大学） 研究期間：平成 24 年 1 月～平成 25 年 3 月）
(12)「鼻炎合併喘息患者における QOL に関する観察研究」	大田　健（帝京大学医学部） 研究期間：平成 22 年 7 月～平成 25 年 6 月）
(13)「ツロブテロールの繊毛運動亢進作用について評価する」	玉置　淳（東京女子医科大学） 研究期間：平成 23 年 12 月～平成 24 年 3 月）

実　施　事　業	概　　要
(14)「軽症または中等症持続型の気管支喘息患者を対象としたブデソニド/ホルモテロール配合剤の有効性・安全性の検討」	一ノ瀬正和（和歌山県立医科大学） 研究期間：平成 22 年 11 月～平成 24 年 9 月）
(15)「花粉症を合併した小児気管支喘息に対するプランルカストの有用性の検討～喘息症状と花粉症症状の推移と夜間睡眠障害との関連について～」	吉原重美（獨協医科大学） 研究期間：平成 24 年 1 月～平成 24 年 5 月
(16)「吸入ステロイド薬による治療で喘息コントロール不十分な症例に対するブデソニド/ホルモテロール配合剤 160/4.5 μg 製剤を用いた Step-up therapy と Step-down therapy の喘息コントロール効果を検討する非盲検無作為化並行群間試験」	岩永賢司（近畿大学医学部） 研究期間：平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月）
2）学術交流研究助成 第 61 回日本アレルギー学会秋季学術大会	日時：平成 23 年 11 月 10 日～ 12 日 場所：グランドプリンスホテル新高輪
3）研究奨励賞 アレルギー・免疫分野の臨床研究者に対する研究助成	応募者 6 名の中から研究助成委員会の審査により下記 1 名の研究者に対して研究奨励金を支給 今岡治樹（久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門） 「抗 IL-18 受容体抗体を用いた炎症性呼吸器疾患治療の研究」
4）国際交流基金による助成金交付	日本人の海外での研究発表等、外国人の日本での研究発表、講演に対して交付　下記応募者 1 名に対して助成金交付 竹田知史（大阪府済生会中津病院呼吸器内科）
5）アボット ジャパン・アレルギー学術奨励賞	平成 23 年 7 月 8 日（金）審査委員会開催 第 21 回の応募者 22 名の中から下記 5 名の研究者に受賞決定 鈴木浩太郎（千葉大学大学院医学研究院 遺伝子制御学） 「気管支喘息における CD_4 陽性 T 細胞内 BAFF レセプターシグナルの役割の解明」 中村勇規（山梨大学 大学院医学工学総合研究部 免疫学講座） 「体内時計がアレルギー疾患の概日性の病態形成に果たす役割」 中江　進（東京大学医科学研究所・フロンティア研究拠点） 「Th17 細胞依存的なアレルギー疾患の発症機構の解明」 武田吉人（大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫アレルギー内科） 「気管支喘息におけるテトラスパニンの機能解析と治療応用」 池田里衣子（大阪大学大学院医学系研究科 分子神経科学） 「多発性硬化症における神経組織の保護・再生に関わる分子機構の研究」
6）真鍋奨学助成	平成 23 年 6 月 16 日（木）運営委員会開催 第 1 回の応募者 28 名の中から下記 5 名の研究者に受賞決定 山下直美（武蔵野大学薬学部） 「非神経性コリン作動系を介する気道上皮細胞の制御機構の解明」

実　施　事　業	概　　要
	森　晶夫（国立病院機構相模原病院　臨床研究センター） 「重症喘息におけるステロイド治療抵抗性の機序解明とその治療法の開発」 佐藤慎二（東海大学医学部） 「急速進行性間質性肺炎を併発する皮膚筋炎における CADM-140 抗原（MDA5）の病因的役割の追究」 土屋尚之（筑波大学大学院人間総合科学研究科生命システム医学専攻） 「次世代シークエンサーを用いた、日本人集団における膠原病疾患感受性遺伝子の包括的同定」 廣畑俊成（北里大学医学部） 「関節リウマチ（RA）の骨髄異常に関する研究」
2．研修会事業 (1) 実地医家向け研修会 日時：平成 23 年 10 月 1 日（土） 場所：社団法人大阪府医師会館 (2) 賛助会員向け研修会 日時：平成 24 年 3 月 2 日（金） 場所：東医健保会館	アレルギー研修会 2011 後援：（社）日本医師会、（社）日本アレルギー学会 受講者：190 名 主題：アレルギー疾患診療・研究のフロントライン 参加人数：35 名
3．啓発活動事業 1）第 18 回アレルギー週間 (1) 企画内容 (2) 後援 (3) 啓発用ポスター (4) 広報 2）アレルギー週間中央講演会 日時：平成 24 年 2 月 18 日（土） 場所：星陵会館 参加人数：126 名 3）「Allergy Today」発行	1）統一標語：「アレルギーの克服に向けて」 2）アレルギー週間行事等 3）本部、支部啓発活動 厚生労働省、（社）日本医師会、（社）日本アレルギー学会 1）中小サイズのポスター作成 2）配布先：都道府県衛生部、全国保健所、医師会、患者相談協力専門医等名簿掲載医師、団体等 3）配布数：中小約 12,600 枚 1）本部、各支部の講演会、医療相談会の行事紹介 朝日新聞全国版　平成 24 年 1 月 28 日、2 月 4 日 2）協会ホームページ、メディアによる啓発報道 テーマ「アレルギー疾患の予防と治療、自己管理を含め」 総合司会：秋山一男（国立病院機構相模原病院長） 基調講演：後藤　穣（日本医科大学耳鼻咽喉科准教授） 「アレルギー性鼻炎・花粉症」 江藤隆史（東京逓信病院皮膚科部長） 「アトピー性皮膚炎」 海老澤元宏（国立病院機構相模原病院臨床研究センター アレルギー性疾患研究部長） 「食物アレルギー」 相談会：領域ごとに基調講演の先生と患者会（アラジーポット、日本アレルギー友の会、アレルギーを考える母の会）による患者さんやご家族との質疑応答 アレルギー疾患を持つ患者さんおよびそのご家族を対象にしたニュースレターを患者会、賛助会員等に 3 回発行、配布

実　施　事　業	概　　要
4）患者相談協力専門医等名簿の発行 5）専門医等紹介事業	平成 23 年度版 患者相談協力専門医等名簿を発行、配布 患者さんからの電話による問い合わせに対して専門医等を紹介
4．学術情報活動事業 1）機関誌「アレルギア」No.40 発行 2）「info Allergy」発行	 平成 23 年 11 月 6,000 部発行し、日本アレルギー学会専門医、賛助会員等に配布 アレルギー疾患の治療に携わる専門医、一般医、コメディカル、賛助会員向けに 3 回発行、配布
5．広報活動事業 ホームページでの情報提供	 JAANet Station の名称で情報提供
6．受託抗原輸入代行事業	研究目的のため、研究者の要請に基づき抗原の輸入代行
7．会議の開催	第 1 回理事会　平成 23 年 6 月 3 日（金） 第 1 回評議員会　平成 23 年 6 月 17 日（金） 第 2 回理事会　平成 24 年 2 月 24 日（金） 第 2 回評議員会　平成 24 年 3 月 16 日（金）

北海道支部（支部長　大野重昭）　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究助成事業 1）自由課題研究助成 (1)「抗プロトロンビン自己抗体の病原性の分子生物学的検討」 (2)「関節リウマチ診療におけるエコー検査の有用性に関する臨床的研究」 (3)「抗リン脂質抗体症候群における血栓傾向のメカニズムに関する研究」 2）学術交流研究助成 第 62 回日本東洋医学会学術総会 平成 23 年 6 月 10 日～ 6 月 12 日 参加人数：2,690 名	 渥美達也（北海道大学第二内科） 研究期間：平成 24 年 2 月～平成 25 年 12 月 小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 24 年 1 月～平成 25 年 1 月 小池隆夫（北海道大学第二内科名誉教授） 研究期間：平成 24 年 3 月～平成 25 年 2 月 場所：札幌コンベンションセンター 会長：大塚吉則（北海道大学大学院教育学研究院）
2．研究会事業 (1) 札幌耳鼻咽喉科アレルギーセミナー（共催） 日時：平成 23 年 4 月 27 日 場所：京王プラザホテル札幌 参加人数：約 100 名 (2) 第 25 回北海道クラミジア・感染・免疫研究会（共催） 日時：平成 23 年 5 月 27 日 場所：札幌医科大学記念ホール 参加人数：約 40 名 (3) 第 15 回北海道アレルギー研究会（共催） 日時：平成 23 年 6 月 25 日 場所：札幌グランドホテル 参加人数：61 名	 特別講演 1：檜澤伸之（筑波大学大学院医学分野呼吸器内科学） 「喘息病態におけるアレルギー性鼻炎の役割」 特別講演 2：藤枝重治(福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学) 「アレルギー性鼻炎の臨床マーカー：どのように症状を評価するか？」 一般演題 3 題 特別講演：今野武津子（札幌厚生病院小児科） 「小児のヘリコバクター・ピロリ感染症」 一般演題 7 題 特別講演：大久保公裕（日本医科大学耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎の病態と最新治療」

実　施　事　業	概　　要
(4) 第20回札幌臨床免疫アレルギーの集い（共催） 日時：平成23年7月6日 場所：札幌医科大学臨床第一講義室 参加人数：約40名	一般演題2題 特別講演：針谷正祥（東京医科歯科大学薬害監視学） 「生物学的製剤のリスク評価とその対応」
(5) 2011北海道臨床喘息セミナーin札幌（共催） 日時：平成23年10月7日 場所：札幌東急イン 参加人数：約50名	特別講演 1：高梨信吾（弘前大学保健管理センター） 「青年期の気管支喘息を考える」 特別講演 2：藤澤隆夫（国立病院機構三重病院臨床研究部） 「小児気管支喘息と末梢気道」
(6) 第21回北海道喘息研究会（共催） 日時：平成23年10月29日 場所：ルネッサンスサッポロホテル 参加人数：約70名	一般演題6題 特別講演：相良博典（獨協医科大学越谷病院呼吸器内科 「喘息病態の変遷とこれからの展望」
(7) 第2回北海道緑内障ぶどう膜炎セミナー（後援） 日時：平成24年1月21日 場所：札幌プリンスホテル国際館パミール 参加人数：約60名	教育講演：南場研一（北海道大学眼科） 「生物学的製剤によるぶどう膜炎治療」 特別講演：久保田敏昭（大分大学眼科） 「緑内障診断と治療アップデート」
(8) 第24回北海道小児リウマチ性疾患研究会（共催） 日時：平成24年2月25日 場所：京王プラザホテル札幌 参加人数：約70名	一般演題：4題 特別講演：高橋裕樹（札幌医科大学第一内科） 「多彩な臓器病変を呈する新たな全身性疾患―IgG4関連疾患―」
3．啓発活動事業 第17回アレルギー週間 (1) 函館地区（主催） 日時：平成23年4月2日 場所：函館市民会館小ホール 参加人数：52名	世話人：山田　豊（函館中央病院小児科） 内容：講演と医療相談 講師：朝倉光司（市立室蘭総合病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎・花粉症と関連する食物アレルギー（口腔アレルギー）について」
(2) 札幌地区（主催） 日時：平成23年4月9日 場所：札幌市医師会館大会議室 参加人数：180名	世話人：佐川　昭（佐川昭リウマチクリニック） 高橋　豊（KKR札幌医療センター） 内容：講演と医療相談 講師：高橋　豊（KKR札幌医療センター） 「食物アレルギー：最近の話題」 加藤直子（加藤直子皮膚科スキンクリニック） 「アトピー性皮膚炎」 土肥　勇（どい内科クリニック） 「おとなのぜんそく」 間口四郎（石狩湾耳鼻科） 「アレルギー性鼻炎・花粉症」
(3) 帯広地区（主催） 日時：平成23年5月21日 場所：帯広厚生病院講堂 参加人数：54名	世話人：高村　圭（帯広厚生病院第一内科） 内容：講演と医療相談 講師：阿部理一郎（北海道大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎」 田中裕士（札幌医科大学第三内科） 「高齢者と子供のぜんそく」

実　施　事　業	概　　要
(4) 旭川地区（主催） 日時：平成 23 年 5 月 21 日 場所：旭川市民文化会館 参加人数：約 70 名	世話人：大崎能伸（旭川医科大学呼吸器センター） 内容：講演と医療相談 講師：山本明美（旭川医科大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎〜病気を知ってうまくつきあう」 高橋　豊（KKR 札幌医療センター） 「食物アレルギー：最近の話題」 大崎能伸（旭川医科大学呼吸器センター） 「ぜんそくについて」

東北支部（支部長　田村　弦）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究会事業 実地医家向け研究会 (1) 第 31 回秋田小児アレルギー研究会 日時：平成 23 年 7 月 2 日 場所：秋田キャッスルホテル 3F「天平」 参加人数：53 名	【特別講演Ⅰ】 座長：本田耕平（秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野准教授） 講演：松脇由典（東京慈恵会医科大学附属病院耳鼻咽喉科学教室） 「小児鼻副鼻腔炎の診断と治療」 【特別講演Ⅱ】 座長：高橋　勉（秋田大学小児科学分野教授） 講演：伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センターアレルギー科部長） 「食物アレルギーの診断と食事指導」
(2) 第 45 回東北アレルギー懇話会 日時：平成 23 年 7 月 2 日 場所：ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 参加人数：75 名	〈当番世話人〉須藤守夫（須藤内科クリニック院長） 【一般演題 7 題】 ［Session 1］座長：小川　洋（福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座教授） ［Session 2］座長：小林　仁（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科准教授） 【特別講演】 座長：山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科教授） 講演：岩本逸夫（国保旭中央病院アレルギー・リウマチセンターセンター長） 「気管支喘息の病態と治療の基本 Update」
(3) 第 7 回宮城県免疫アレルギー懇話会 日時：平成 23 年 7 月 16 日 場所：勝山館　2F　瑞雲 参加人数：63 名	【一般演題 4 題】 座長：三浦克志（宮城県立こども病院総合診療科） 【特別講演】 座長：石井智徳（東北大学血液免疫科） 講演：谷口正実（独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター病態総合研究部部長） 「アレルギー性肉芽腫性血管炎（CSS）の診断と治療」
(4) 第 1 回いわて小児アレルギー疾患研究会 日時：平成 23 年 7 月 23 日 場所：ホテル東日本 参加人数：39 名	【指定講演】 座長：佐々木美香（岩手医科大学小児科学講座講師） 講演：渕向　透（県立大船渡病院副院長） 「東日本大震災の経験」

実　施　事　業	概　　要
	【追加発言】 講師：赤坂　徹（赤坂こどもクリニック院長） 「東日本大震災への日本小児アレルギー学会の支援活動」 【特別講演】 座長：赤坂　徹（赤坂こどもクリニック院長） 講師：山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科教授） 「小児喘息と成人喘息の関わりについて」
(5) 第5回東北喘息研究会 日時：平成23年9月3日 場所：仙台国際ホテル 参加人数：130名	【特別講演Ⅰ】 座長：岡田昌彦（米沢市立病院副院長） 講師：赤澤　晃（東京都立小児総合医療センターアレルギー科医長） 「小児気管支喘息治療の現状と今後」 【特別講演Ⅱ】 座長：高梨信吾（弘前大学健康管理センター教授） 講師：福田　健（獨協医科大学呼吸器・アレルギー科主任教授） 「ICS/LABA配合剤に関する最新の知見」
(6) 宮城県喘息・アレルギーフォーラム 日時：平成23年10月5日 場所：江陽グランドホテル 参加人数：52名	【講演Ⅰ】＜成人領域から＞ 座長：田村　弦（仙台気道研究所代表） 講演：下田照文（国立病院機構福岡病院臨床研究部長） 「気道炎症の評価と喘息治療―ロイコトリエン受容体拮抗薬の意義を含めて―」 【講演Ⅱ】＜小児領域から＞ 座長：三浦克志（宮城県立こども病院総合診療部部長） 講演：小田嶋博（国立病院機構福岡病院副院長） 「小児気管支喘息治療の最適化を目指して」
(7) 山形喘息セミナー第9回学術講演会 日時：平成23年10月13日 場所：東京第一ホテル米沢 参加人数：64名	【一般講演】 座長：池田英樹（三友堂病院呼吸器科科長） 講師：本間信夫（米沢市立病院小児科医長） 「当院における食物アレルギー負荷試験」 【特別講演】 座長：岡田昌彦（米沢市立病院副院長） 講師：栗原和幸（神奈川県立こども医療センターアレルギー科部長） 「食物アレルギーの新しい概念と喘息」
(8) 第10回郡山アレルギー研究会 日時：平成23年10月22日 場所：ホテルプリシード郡山 参加人数：28名	【一般演題】 講師：野村絵里香（総合南東北病院皮膚科） 「2，3のアレルギー皮膚疾患について」 【特別講演Ⅰ】 座長：太神和廣（おおがチャイルドクリニック院長） 講師：岩田　力（東京家政大学家政学部児童学科小児医学研究所教授） 「小児のアレルギー性疾患―最近の話題」 【特別講演Ⅱ】 座長：前田真作（寿泉堂綜合病院副院長） 講師：國分二三男（昭和大学藤が丘病院呼吸器内科准教授医長） 「気管支喘息の治療～難治例へのアプローチ～」

実　施　事　業	概　　要
(9) 日本アレルギー協会東北支部学術講演会 日時：平成 23 年 11 月 5 日 場所：江陽グランドホテル 参加人数：107 名	【特別講演Ⅰ】 座長：赤坂　徹（赤坂こどもクリニック） 講演：亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科部長） 「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2011 改定のポイント」 【特別講演Ⅱ】 座長：茆原順一（秋田大学大学院医学系研究科感染・免疫アレルギー・病態検査学講座教授） 講演：西村善博（神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野准教授） 「喘息死ゼロ作戦の取り組みについて ～長期コントロールの重要性～」 【特別講演Ⅲ】 座長：相場節也（東北大学大学院医学系研究科神経・感覚病態学講座皮膚科学分野教授） 講演：戸倉新樹（浜松医科大学皮膚科学教授） 「皮膚アレルギー疾患」
(10) 第 7 回山形アレルギー膠原病自己免疫疾患勉強会 日時：平成 24 年 2 月 2 日 場所：山形大学医学部第 5 講義室 参加人数：38 名	座長：今田恒夫（山形大学医学部内科学第一講座病院教授） 【一般演題】 講演：宮地千尋（山形大学医学部皮膚科学講座） 「好酸球性筋膜炎の一例：3 型アレルギー性疾患として」 【特別講演】 講演：高橋裕樹（札幌医科大学医学部内科学第一講座准教授） 「シェーグレン症候群と lgG4 関連疾患」
(11) 第 10 回気道疾患対策セミナー 日時：平成 24 年 2 月 4 日 場所：江陽グランドホテル 参加人数：394 名	【気道疾患対策会議活動報告】 座長：森川みき（森川小児科アレルギー科クリニック副院長） 講演：小川　洋（福島県立医科大学会津医療センター準備室（耳鼻咽喉科）教授） 「小児鼻炎の治療指針に関する実態調査」 【特別講演 1】 座長：川瀬哲朗（東北大学大学院医工学研究所 生体再生医工学講座 聴覚再建医工学研究科教授） 講演：松谷幸子（仙台赤十字病院耳鼻咽喉科部長） 「好酸球性中耳炎に関する話題」 【特別講演 2】 座長：進藤千代彦（東北大学医学部保健学科 検査技術科学専攻教授） 講演：玉置　淳（東京女子医科大学病院第一内科教授） 「喘息という病気の多様性」 【特別講演 3】 座長：赤坂　徹（赤坂こどもクリニック院長） 講演：河野陽一（千葉大学大学院医学研究院 小児病態学教授） 「小児気管支喘息治療の最近の動き　JPGL2012 を基にした長期管理」

実　施　事　業	概　　要
(12) 第19回福島県アレルギー研究会 日時：平成24年2月18日 場所：福島テルサ 参加人数：43名	【一般演題】 座長：川崎幸彦（福島県立医科大学医学部小児科学講座准教授） 演題：6題 【特別講演】 座長：細矢光亮（福島県立医科大学医学部小児科学講座教授） 演者：荒川浩一（群馬大学大学院医学系研究科小児科分野教授） 「気管支喘息の最新の病態理解と治療戦略」
(13) 第41回岩手アレルギー・呼吸器懇話会 日時：平成24年2月23日 場所：ホテルメトロポリタン盛岡NW 参加人数：66名	【特別講演1】 座長：山内広平（岩手医科大学内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野教授） 講演：柴田陽光（山形大学第一内科病院教授） 「呼吸機能検査の重要性とCOPD治療の今後について」 【特別講演2】 座長：千田勝一（岩手医科大学医学部小児科学教授） 講演：勝沼俊雄（東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科准教授） 「小児アレルギー疾患のトピックスと検査の応用」
(14) 第11回郡山アレルギー研究会 日時：平成24年2月25日 場所：郡山ビューホテル5Fプリエール 参加人数：51名	【一般演題】 座長：金子史男（総合南東北病院皮膚免疫・アレルギー疾患研究所所長） 講師：岸本和裕（財団法人竹田綜合病院皮膚科科長） 「重症・難治性アトピー性皮フ炎の治療経験と今後の課題」 【特別講演Ⅰ】 座長：前田真作（寿泉堂綜合病院呼吸器科副院長） 講演：谷口正実（独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター病態総合研究部部長） 「NSAIDs不耐症　up to date」 【特別講演Ⅱ】 座長：今野昭義（総合南東北病院アレルギー・頭頚部センター所長） 講演：岡本美孝（千葉大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学教授） 「花粉症の現状と今後の治療」
(15) 第11回岩手花粉症懇話会 日時：平成24年2月25日 場所：ホテルロイヤル盛岡 参加人数：39名	【一般演題2題】 座長：佐藤護人（佐藤耳鼻咽喉科医院院長） 座長：須藤守夫（須藤内科クリニック院長） 【特別講演】 座長：山内広平（岩手医科大学内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野教授） 講演：久保伸夫（大阪歯科大学耳鼻咽喉科准教授） 「抗ヒスタミン薬の使い分けと鼻呼吸の意義」
(16) 第52回山形皮膚医学研究会学術講演会 日時：平成24年3月30日 場所：山形国際ホテル 参加人数：46名	座長：鈴木民夫（山形大学医学部皮膚科学教室教授） 講師：宮地良樹（京都大学大学院医学研究科皮膚科学教授） 「皮膚アレルギー診療のトレンド」

実　施　事　業	概　　要
2．啓発活動事業 1）第18回アレルギー週間 (1) 山形県 日時：平成24年1月29日 場所：霞城セントラル3階大会議室 参加人数：184名	「アレルギーはこわくない」 【司会】鈴木民夫（山形大学皮膚科教授） 【講演】門馬文子（山形大学医学部皮膚科） 「食べて走ると危ないじんま疹について」 井上純人（山形大学医学部第一内科） 「喘息とのつきあい方」 太田伸男（山形大学医学部耳鼻咽喉科） 「花粉症とのつきあい方」
(2) 宮城県 日時：平成24年2月11日 場所：アエル5階多目的ホール 参加人数：178名	「花粉症と小児ぜんそく」 基調講演①「子どものぜんそく」 座長：大野　勲（東北薬科大学病態生理学講座教授） 講師：森川みき（森川小児科アレルギー科クリニック副院長） 基調講演②「花粉症のおはなし」 座長：田村　弦（仙台気道研究所代表） 講師：草刈千賀志（草刈耳鼻科院長） パネルディスカッション コーディネーター：田村　弦（仙台気道研究所代表） パネリスト： 大野　勲（東北薬科大学病態生理学講座教授） 草刈千賀志（草刈耳鼻科院長） 森川みき（森川小児科アレルギー科クリニック副院長）
(3) 岩手県 日時：平成24年3月4日 場所：アイーナいわて県民情報交流センター 参加人数：100名	「小児アレルギーに関する最近の話題」 【司会】千田勝一（岩手医科大学小児科教授） 【講演】 須藤守夫（須藤内科クリニック院長） 「速報　今年のスギ花粉飛散予報」 佐々木美香（岩手医科大学小児科講師） 「食物アレルギー」 ①石鹸が原因の小麦アレルギー ②食べて治す食物アレルギー 石川　健（岩手医科大学小児科講師） 「運動誘発性喘息について」 赤坂真奈美（岩手医科大学小児科助教） 「抗ヒスタミン薬の進化」
(4) 福島県 日時：平成24年3月20日 場所：コラッセ福島4階多目的ホール 参加人数：85名	「皮膚アレルギー・免疫病への挑戦」 【講演Ⅰ】 司会：山本俊幸（福島県立医科大学皮膚科教授） 講師：加藤雪彦（東京都立多摩総合医療センター皮膚科医長） 「アトピー性皮膚炎に負けないように」 【講演Ⅱ】 司会：金子史男（福島県立医科大学名誉教授） 講師：山本俊幸（福島県立医科大学皮膚科教授） 「乾癬～病気の仕組みと治療の進歩～」

実　施　事　業	概　　要
(5) 秋田県 日時：平成 24 年 3 月 24 日 場所：イオンモール秋田イオンホール 参加人数：60 名	「アレルギーはあなたの身近にも ―もっと知ってみよう、アレルギーのこと―」 【講演】 進行役：小林良樹（秋田大学大学院医学系研究科感染・免疫アレルギー・病態検査学） 竹田正秀（秋田大学大学院医学系研究科感染・免疫アレルギー・病態検査学） 「喘息の検査と治療について」 早川宏一（秋田組合総合病院眼科） 「目のアレルギーの検査と治療について」 小松真紀（秋田組合総合病院小児科） 「小児のアレルギーの検査と治療について」 本田耕平（秋田大学医学部附属病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎の現状と対策」 【アレルギー検査実演・実体験コーナー】 呼吸機能検査・鼻汁検査・細隙灯検査など
(6) 青森県 日時：平成 24 年 3 月 24 日 場所：八戸市総合福祉会館 参加人数：120 名	「アレルギーとどう付き合うか ―さまざまなアレルギーとその対処方法―」 【司会】鹿内喜佐男（鹿内内科医院院長） 【講演】 安ヶ平英夫（八戸市民病院呼吸器科部長） 「症状のない喘息コントロールを目指して」 鶴田　靖（八戸市民病院第一小児科医長） 「子供の喘息と食物アレルギー」 去石　巧（八戸市民病院耳鼻科部長） 「アレルギー性鼻炎についてー花粉症を中心にー」 石川博康（湊高台皮膚科院長） 「知っておきたい身近なかぶれ」
2）一般向け市民公開講座 米沢小児アレルギー教室 日時：平成 24 年 3 月 11 日（日） 場所：アクティー米沢 2F 大会議室 参加人数：40 名	「ここまで治せる・治せる小児アレルギー」 司会：岡田昌彦（米沢市立病院副院長） 【講演】 岡田昌彦（米沢市立病院副院長） 「最近のアレルギー治療の進歩」 斎藤誠一（医療法人舟山病院小児科医長） 「小児喘息治療―2012 年ガイドラインについて」 本間伸夫（米沢市立病院小児科科長） 「食物アレルギーについて」
3．定例会議 平成 23 年 7 月 3 日 平成 23 年 11 月 5 日	第 1 回東北支部世話人会　（場所：八戸市） 第 2 回東北支部世話人会　（場所：仙台市）

北関東支部（支部長　福田　健）

（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究会事業	
(1) 第 57 回新潟アレルギー研究会 日時：平成 23 年 6 月 11 日（土） 場所：チサンホテル＆コンファレンスセンター新潟 参加人数：50 名	特別講演：足立雄一（富山大学医学部小児科 講師） 「小児喘息における吸入療法」 教育講演：川崎　克（空港前クリニック耳鼻咽喉科） 「慢性副鼻腔炎の検討」 一般演題 2 題
(2) 第 49 回茨城小児アレルギー研究会 日時：平成 23 年 6 月 16 日（木） 場所：水戸京成ホテル 参加人数：32 名	症例報告：加藤かな江（茨城県立こども病院） 「食物アレルギー 4 症例の検討」 特別講演：栗原和幸（地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター アレルギー科） 「食物アレルギーの新しい考え方」
(3) アレルギー好酸球研究会 2011 日時：平成 23 年 6 月 18 日（土） 場所：大手町サンケイプラザ 参加人数：58 名	特別講演：大津　浩（東北大学大学院工学研究科応用量子医工学教授） 「ヒスチジン脱炭酸酵素遺伝子改変マウスを用いた病態モデルの研究」 Session 1～Session 7：25 演題
(4) 第 9 回新潟吸入療法研究会 日時：平成 23 年 8 月 20 日（土） 場所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 参加人数：70 名	特別講演：橋本 修（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野教授） 「気管支喘息の病態と治療：最近の話題」 一般演題：3 題
(5) 第 58 回新潟アレルギー研究会 日時：平成 23 年 10 月 15 日（土） 場所：チサンホテル＆コンファレンスセンター新潟 参加人数：50 名	特別講演：瀧川雅浩（浜松医科大学医学部附属病院 病院長） 「経皮免疫療法から学んだこと」 教育講演：小屋俊之（新潟大学医歯学総合病呼吸器内科 助教） 「アスリートの喘息」 一般演題：2 題
(6) 第 50 回茨城県小児アレルギー教室 日時：平成 23 年 11 月 17 日（木） 場所：ホテルグランド東雲 参加人数：44 名	特別講演：井上壽茂（住友病院小児科部長） 「コントロールレベルと長期管理のコツ」
(7) 第 21 回湯田上カンファレンス喘息アレルギー研究会 日時：平成 24 年 2 月 4 日（土） 場所：燕三条地場産業センター リサーチコア 参加人数：59 名	特別講演：井上壽茂（住友病院 内科系診療局長 小児科診療主任部長） 「小児気管支喘息のより良い長期管理を目指して―JPGL2012 改訂の要点―」 パネルディスカッション：小児の喘息・アレルギー研究の最前線 福田啓伸（獨協医科大学小児科 大田原赤十字病院小児科） 萩原里実（独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター小児科） 伊藤靖典（糸魚川総合病院小児科） 田阪祐子（神奈川県立こども医療センター看護局） 森川昭廣（北関東アレルギー研究所 所長）
(8) 第 14 回新潟喘息治療研究会 2012 日時：平成 24 年 3 月 3 日（土） 場所：ホテル日航新潟 参加人数：100 名	特別講演：興梠博次（熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器病態教授） 「喘息・COPD および類似疾患の外来診療の実際」 講演 1：河上英則（新潟県立中央病院呼吸器内科） 「ACT スコアによる喘息管理示標についての考察～ GINA・JSA に基づく喘息管理示標との関係から～」

実　施　事　業	概　　要
	講演 2：佐藤英夫（立川総合病院呼吸器内科） 「喘息治療に対する患者の嗜好と効果的な治療」 講演 3：坂上拓郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科分野） 「気管支喘息における疾患修飾性遺伝子の同定に関する研究」
2．啓発活動事業 第 18 回アレルギー週間 (1) 新潟（新潟県） 日時：平成 24 年 2 月 19 日（日） 場所：新潟ユニゾンプラザ 参加人数：43 名	講演会： 1）成人喘息　藤森勝也（県立柏崎病院内科） 2）小児喘息　阿部時也（新潟市民病院小児科） 3）アレルギー性鼻炎　川崎　克（空港前クリニック） 4）アトピー性皮膚炎　丸山友裕（皮膚科まるやまクリニック） 5）薬剤アレルギー　斎藤幹央(新潟薬科大学臨床薬学研究室) 医療相談会
(2) つくば（茨城県） 日時：平成 24 年 2 月 19 日（日） 場所：つくば国際会議場 参加人数：91 名	講演会： 1）飯島弘晃（筑波メディカルセンター病院 呼吸器内科 診療科長） 「喘息との上手な付き合い方」 2）坂本　透（筑波大学附属病院呼吸器内科 准教授） 「COPD ～肺の生活習慣病～」 医療相談会；肺年齢 / 肺活量の測定
(3) つくば（茨城県） 日時：平成 24 年 2 月 24 日（金） 場所：オークラフロンティアホテルつくば 参加人数：51 名	特別講演 1：望月博之(東海大学医学部専門診療学系小児科学 教授) 「小児の咳嗽の病態と治療の最前線」 特別講演 2：藤村政樹（金沢大学附属病院呼吸器内科 臨床教授） 「成人慢性咳嗽の病態・診断・治療」
(4) 宇都宮（栃木県） 日時：平成 24 年 2 月 8 日（水） 場所：足利市生涯学習センター 参加人数：130 名	講演会：吉原重美（獨協医科大学小児科学 准教授） 「学校給食における食物アレルギーの現状とその対応」 研修会
2）一般向け（患者保護者向け） (1) 第 20 回小児喘息アレルギー教室 日時：平成 23 年 6 月 18 日 場所：筑波メディカルセンター病院 参加人数：20 名	勉強会：市川邦男（筑波メディカルセンター病院小児科） 「食物アレルギーについて～小麦アレルギーを中心に～」 「小麦アレルギーに対応した食事について」 「卵・乳・小麦アレルギーに対応した食事について」
(2) 第 21 回小児アレルギー教室 日時：平成 23 年 11 月 19 日 場所：筑波メディカルセンター病院 参加人数：15 名	勉強会：市川邦男（筑波メディカルセンター病院小児科） ～みんなで治そうアトピー性皮膚炎～ 「アトピー性皮膚炎ってどんな病気？」 「自宅ですぐ出来るスキンケアの仕方（洗い方・泡立て方を実演します）」
(3) 第 22 回小児喘息アレルギー教室 日時：平成 24 年 3 月 17 日 場所：筑波メディカルセンター病院 参加人数：17 名	勉強会：市川邦男（筑波メディカルセンター病院小児科） 「食物アレルギーについて」 「卵・乳・小麦アレルギーに対応した食事について」

関東支部（支部長　伊藤幸治）

（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究助成事業 1）自由課題研究助成 (1) オシレーション法（Mosto Graph-01）を用いた閉塞性肺疾患における可逆性気流制限の臨床的検討 (2) 気管支喘息患者に対する病診連携の効果に関する調査 2）学術交流研究助成	 西川正憲（藤沢市民病院） 研究期間：平成 23 年 9 月～平成 24 年 8 月 駒瀬裕子（神奈川呼吸器疾患研究会） 研究期間：平成 23 年 8 月～平成 26 年 3 月 学会、研究会等に対し学術研究助成 AR Forum2011
2．啓発活動 1）第 18 回アレルギー週間 (1) 埼玉地区市民公開講座 2011 日時：平成 24 年 2 月 4 日（土） 場所：アコスホール（草加市） 参加人数：約 50 名	 司会：永田　真（埼玉医科大学アレルギーセンター、同呼吸器内科） 講演：當間由子（東松山市立市民病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎」 倉島一喜（埼玉県立循環器呼吸器病センター呼吸器内科） 「気管支喘息」 飯野ゆき子（自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科） 「スギ花粉症」
(2) 東京城北地区市民公開講座 日時：平成 24 年 2 月 5 日（日） 場所：帝京大学本部棟会議室（板橋区） 参加人数：約 30 名	司会：山口正雄（帝京大学医学部 呼吸器・アレルギー内科） 講演 1：大田　健（帝京大学医学部 呼吸器・アレルギー内科） 「成人ぜん息の最新治療」 講演 2：飯野ゆき子（自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎の最新情報」 質疑応答
(3) 山梨アレルギー市民フォーラム 2012 日時：平成 24 年 2 月 5 日（日） 場所：山梨大学医学部臨床小講堂 参加人数：132 名	司会：増山敬祐（山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 講演：高橋　博（山梨大学医学部眼科学講座） 「眼科領域のアレルギー疾患について」 増山敬祐（山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 「花粉症について」 石原　裕（山梨大学医学部内科学講座第 2 教室） 「気管支喘息について」 塚本克彦（県立中央病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎について」 池田久剛（山梨厚生病院小児科） 「食物アレルギーについて」
(4) 千葉ブロック東部地区市民公開講座 日時：平成 24 年 2 月 12 日（日） 場所：成田市保健福祉会館（成田市） 参加人数：80 名	テーマ「アレルギー・アトピーの克服に向けて―花粉症とぜん息を一緒に考えましょう―」 第 1 部：特別講演 司会：鳥居敏明（鳥居内科医院） 講演：岡本美孝（千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学） 「アレルギー性鼻炎 / 花粉症について」 司会：関根邦夫（せきねこどもクリニック） 講演：西牟田敏之（国立病院機構下志津病院小児アレルギー科） 「小児ぜん息のコントロール」

実　施　事　業	概　　要
	第2部：質問コーナー 司会：平栗雅樹（成田赤十字病院） 松山　剛（県立佐原病院） 回答者：岩本逸夫（国保旭中央病院） 永山博敏（国保旭中央病院） 特別講演演者2名
(5) 信州アレルギー市民公開講座2012 日時：平成24年2月18日（土） 場所：JA長野県ビル会議室（長野市） 参加人数：約60名	テーマ「アレルギー疾患は克服できます！」 司会：久保惠嗣（信州大学医学部附属病院 呼吸器センター 呼吸器・感染症内科） 藤本圭作（信州大学医学部保健学科） 講演：茂木英明（信州大学医学部耳鼻咽喉科学講座） 「快決！くしゃみ、鼻水、鼻づまり～アレルギー性鼻炎～」 木庭幸子（信州大学医学部皮膚科学講座） 「アレルギーと皮膚～アトピー性皮膚炎を中心に～」 小林法元（信州大学小児科学講座） 「小児期のアレルギー性疾患～食物アレルギーと気管支喘息～」 宮原隆成（JA長野厚生連長野松代総合病院呼吸器内科） 「喘息死ゼロを目指して」
(6) 千葉ブロック千葉地区市民公開講座 日時：平成24年2月19日（日） 場所：プラザ菜の花（千葉市） 参加人数：45名	第1部：特別講演 司会：板谷喬起（板谷内科クリニック） 講演：星岡　明（千葉県こども病院アレルギー・膠原病科） 「小児ぜん息」 中島裕史（千葉大学大学院医学研究院アレルギー・膠原病内科） 「成人ぜん息」 司会：岡本美孝（千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学） 講演：米倉修二（千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学） 「アレルギー性鼻炎 / 花粉症」 神戸直智（千葉大学大学院医学研究院皮膚科学） 「アトピー性皮膚炎」 第2部：質問コーナー 司会：松村竜太郎（国立病院機構千葉東病院） 椿　俊和（つばきこどもクリニック） 回答者：特別講演演者4名
(7) 神奈川県アレルギー患者相談会 日時：平成24年2月19日（日） 場所：横浜新都市ビル（そごう）9階 参加人数：約100名	講演：『アレルギーへの対処方法、アレルゲン回避 vs 免疫療法』 講師：海老澤元宏（国立病院機構相模原病院） 個別相談 相談員： 小児科（食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・小児喘息など） 高増哲也（神奈川県立こども医療センター） 海老澤元宏（国立病院機構相模原病院） 皮ふ科（成人アトピー性皮膚炎・じんましん　など） 川口博史（金沢皮膚科） 朝比奈昭彦（国立病院機構相模原病院） 内科（成人喘息・アレルギー性鼻炎など） 谷口正実（国立病院機構相模原病院） 秋山一男（国立病院機構相模原病院）

実　施　事　業	概　　要
(8) 東京城東・中央地区講演会 日時：平成 24 年 3 月 17 日（土） 場所：同愛記念病院大会議室 参加人数：約 60 名	テーマ「成人のアレルギー」 司会・進行：佐野靖之（東京アレルギー・喘息研究所所長） 講演：黛　康夫（同愛記念病院アレルギー呼吸器科部長） 「気管支喘息について」 齊藤孝夫（同愛記念病院耳鼻咽喉科部長） 「アレルギー性鼻炎（特に花粉症）について 金子健彦（同愛記念病院皮膚科部長） 「アトピー性皮膚炎～上手に手なづけるこつ～」 アレルギー相談・質疑応答　医師全員
2）患者会への援助	アレルギー患者会活動（行事）に対する援助 援助先：NPO 法人日本アレルギー友の会、NPO 法人相模原アレルギーの会
3．広報活動 「関東支部だより」の発行	関東支部個人会員向けに第 10 号（6 月）、第 11 号（1 月）発行、配布
4．会議の開催	関東支部評議員会開催 平成 23 年 8 月 3 日（水）

東海支部（支部長　高木健三）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究会事業	
(1) 第 6 回岐阜小児アレルギー・喘息研究会 日時：平成 23 年 6 月 2 日 場所：岐阜グランドホテル 参加人数：43 名	一般演題　3 題 特別講演 座長：近藤直実（岐阜大学大学院小児病態学） 講師：井上壽茂（住友病院） 「乳幼児喘息における吸入ステロイド療法」
(2) 第 4 回岐阜免疫・感染・川崎病研究会 日時：平成 23 年 7 月 21 日（木） 場所：岐阜グランドホテル 参加人数：35 名	一般演題　4 題 特別講演 座長：近藤直実（岐阜大学大学院小児病態学） 講師：濱崎雄平（佐賀大学医学部小児科学） 「小児気管支喘息の治療と管理：JPGL2011 の改訂に向けての論点」
(3) 第 11 回愛知成人喘息研究会 日時：平成 23 年 9 月 22 日（木） 場所：名古屋マリオットアソシアホテル 参加人数：86 名	特別講演 座長：山口悦郎（愛知医科大学呼吸器・アレルギー内科） 講師：宮川武彦（宮川医院） 「適切な吸入療法」 講師：馬場研二（愛知医科大学呼吸器・アレルギー内科） 「当院の成人喘息患者における MostGraph の使用経験」
(4) 第 49 回東海喘息研究会 日時：平成 23 年 9 月 29 日（木） 場所：メルパルク名古屋 参加人数：25 名	一般演題　2 題 特別講演 座長：岡澤光芝（藤田保健衛生大学呼吸器内科・アレルギー科） 講師：巽浩一郎（千葉大学呼吸器内科） 「気流制限を伴う慢性喘息の治療戦略」

実　施　事　業	概　　要
(5) 第38回東海花粉症研究会 日時：平成23年12月10日（土） 場所：名古屋ダイヤビルディング2号館 参加人数：37名	テーマ演題　7題 一般演題　2題 特別演題 座長：伊藤博隆（いとうひろたか耳鼻咽喉科・アレルギー科） 講師：岸川禮子（国立病院機構福岡病院アレルギー科） 「花粉抗原の現況」
(6) 第9回岐阜小児血液免疫アレルギー難治疾患研究会 日時：平成24年2月16日（木） 場所：岐阜都ホテル 参加人数：32名	教育講演 大西秀典（岐阜大学大学院小児病態学） 「難治性免疫異常症の診断戦略について～当科で長期間にわたり診断困難であった3症例をモデルケースに～」 特別講演 座長：近藤直実（岐阜大学大学院小児病態学） 講師：高田英俊（九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野） 「原発性免疫不全症候群の疫学と病態」
(7) 第1回岐阜小児臨床アレルギー研究会 日時：平成24年2月23日（木） 場所：岐阜グランドホテル 参加人数：46名	教育講演 座長：松井永子（岐阜大学大学院小児病態学） 講師：寺本貴英（岐阜大学大学院小児病態学） 「小児アレルギー領域における最近の話題から～震災対応と岐阜県における食物アレルギーの現状～」 特別講演 座長：近藤直実（岐阜大学大学院小児病態学） 講師：佐伯秀久（東京慈恵会医科大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎に関する最近の話題―プロトピック軟膏を含めた外用療法を中心に―」
(8) 第50回東海喘息研究会 日時：平成24年3月15日（木） 場所：名古屋マリオットアソシアホテル 参加人数：66名	教育講演 山口　真（中部労災病院腎臓内科） 「腎臓内科から見た血液ガスの読み方」 片岡健介（公立陶生病院呼吸器・アレルギー内科） 「呼吸器内科から見た血液ガスの読み方」 記念講演 座長：長谷川好規（名古屋大学呼吸器内科） 講師：末次　勸（藤田保健衛生大学呼吸器内科・アレルギー科） 「アスピリン喘息について」 講師：下方　薫（名古屋大学） 「アレルギー研究を振り返って」
2．啓発活動事業 第18回アレルギー週間 (1) 三重県 日時：平成24年2月9日（木） 場所：三重大学医学部附属病院耳鼻咽喉科外来 参加人数：1名	鼻アレルギー無料相談会 竹内万彦（三重大学耳鼻咽喉科）
(2) 岐阜県 日時：平成24年2月22日（水） 場所：岐阜大学医学部附属病院1階多目的ホール 参加人数：34名	アレルギーについての講演および患者相談会 寺本貴英、松井永子、近藤直実（岐阜大学大学院小児病態学） 「アレルギーと予防接種」

実　施　事　業	概　　要
(3) 愛知県 日時：平成 24 年 2 月 22 日（水） 場所：名古屋大学医学部附属病院呼吸器外来 参加人数：2 名	成人気管支喘息患者相談会 川部　勤（名古屋大学保健学科）

北陸支部（支部長　眞弓光文）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究会事業	
(1) 第 32 回富山免疫アレルギー研究会（後援） 日時：平成 23 年 5 月 19 日 場所：富山市 参加人数：55 名	小川玲奈（富山大学第一内科） 「肺癌に合併した多中心性細網組織球症の 1 剖検例」 仲岡英幸（富山大学医学部小児科） 「本邦初の発達型 ADA 欠損症の一例」 山腰高子（富山大学皮膚科） 「アダリムマブ（ヒュミラ®）」が奏効した尋常性乾癬の 1 例」 市川智巳（富山大学医学部第一内科） 「Sirt1 活性化薬 SRT1720 は OVA 喘息マウスモデルの炎症反応を抑制する」 牧野輝彦（富山大学医学部皮膚科） 「日本人疱疹状皮膚炎における抗トランスグルタミナーゼ抗体の検討」 特別講演 秋山真志（名古屋大学大学院医学系研究科皮膚病態学） 「アトピー性疾患と皮膚バリア障害―今、フィラグリンが注目されている理由―」
(2) 第 13 回北陸喘息治療研究会―喘息死ゼロ作戦―(後援) 日時：平成 23 年 5 月 21 日 場所：金沢市 参加人数：60 名	大倉徳幸（金沢大学附属病院呼吸器内科） 「アレルギー疾患診断・診療ガイドラインに即した喘息診療サポートツール（*ASIST*）の有用性について」 谷口正実（国立病院機構相模原病院臨床研究センター病態総合研究部） 「アレルギー炎症疾患とロイコトリエン過剰産生」
(3) 北陸小児喘息治療研究会学術講演会（後援） 日時：平成 23 年 6 月 18 日 場所：金沢市 参加人数：50 名	板澤寿子（富山大学医学部小児科） 「小児の気管支喘息における IOS（impulse oscillation system）の有用性について」 安冨素子（福井大学医学部小児科） 「福井県における学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）の使用状況と問題点」 特別講演 望月博之（東海大学医学部専門診療学系小児科学） 「小児気管支喘息の診断と治療の最前線」
(4) 福井喘息・アレルギー学術講演会（後援） 日時：平成 23 年 11 月 19 日 場所：福井市 参加人数：30 名	長谷光雄（福井赤十字病院副院長 兼呼吸器部長） 「喘息死 0 を目指した福井県の取り組み～喘息カードの運用について～」 特別講演 藤澤隆夫（国立病院機構三重病院 臨床研究部長） 「小児気管支喘息と末梢気道」

実　施　事　業	概　　要
(5) 第38回北陸アレルギー研究会（共催） 日時：平成23年12月3日 場所：金沢市 参加人数：38名	板澤寿子（富山大学医学部小児科） 「茶のしずく石鹸で感作され小麦依存性運動誘発アナフィラキシーを発症した1例」 水野和徳（金沢医療センター小児科） 「加水分解小麦含有石鹸による経皮感作にて発症した小麦アレルギーの2例」 安冨素子（福井大学医学部小児科） 「新生児ミルクアレルギーの診断と治療における問題点（当院での経験）」 岡部美恵（富山大学医学部小児科） 「小児における鼻炎が喘息に及ぼす影響」 斎藤雅俊（金沢医科大学呼吸器内科学） 「成人閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対するステロイド点鼻の効果」 特別講演 神戸直智（千葉大学大学院医学研究院皮膚科学） 「自己炎症性疾患　その疾患概念と臨床症状」
(6) 第15回北陸喘息研究会（共催） 日時：平成24年3月10日 場所：金沢市 参加人数：114名	奨励賞講演 伊藤靖典（糸魚川総合病院） 「Association between the Results of the Childhood Asthma Control Test and Objective Parameters in asthmatic Children」 特別講演Ⅰ 吉原重美（獨協医科大学医学部小児科学） 「小児気管支喘息治療のUP-TO-DATA〜2012改訂ガイドラインをふまえて〜」 特別講演Ⅱ 大田　健（帝京大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 「最新のガイドラインに沿った喘息治療戦略」
2．啓発活動事業 第18回アレルギー週間 (1) 富山県 日時：平成24年2月19日 場所：富山市 参加人数：25名	［講演］ 第18回アレルギー週間事業　アレルギー疾患講演会と相談会 中川肇（富山大学耳鼻咽喉科・経営企画情報部） 「アレルギー性鼻炎とつきあう」 足立陽子（富山大学小児科） 「食物アレルギーとどう向き合うか（経口免疫療法を含め）」 牧野輝彦（富山大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎―最近の話題―」 ［個別相談会］
(2) 石川県 日時：平成24年2月18日 場所：金沢市 参加人数：25名	［講演］ 第18回アレルギー疾患の講演と相談会 「アレルギー疾患の予防・治療」 濱口儒人（金沢大学皮膚科） 「皮膚科　アトピー性皮膚炎について」 榊原康久（金沢大学小児科） 「小児科　食物アレルギーについて」 横川英明　（金沢大学眼科） 「眼科　花粉症・アレルギー性結膜炎について」 遠藤一平　（金沢大学耳鼻咽喉科） 「耳鼻咽喉科　花粉症・アレルギー性鼻炎について」 大倉徳幸　（金沢大学呼吸器内科） 「呼吸器内科　成人気管支喘息について」 ［個別相談会］

実　施　事　業	概　　要
(3) 福井県 日時：平成 24 年 2 月 20 日 場所：永平寺町 相談件数：7 件	2012 アレルギー週間・福井アレルギー電話相談 ・成人気管支喘息について（呼吸器内科） ・アトピー性皮膚炎・じん麻疹について（皮膚科） ・アレルギー性鼻炎・花粉症について（耳鼻咽喉科） ・小児の喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギーについて（小児科）

関西支部（支部長　川瀬一郎）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究助成事業 1）自由課題研究助成	
(1)「眼表面炎症性疾患の病態解明と新規治療法の開発に関する研究」	木下　茂（京都府立医科大学視覚機能再生外科学） 研究期間：平成 23 年 4 月～ 26 年 3 月
(2)「低刺激性・低アレルギー性化粧品の敏感肌の人に対するパッチテスト」	片山一朗（大阪大学医学研究科皮膚科学） 研究期間：平成 23 年 10 月～23 年 12 月
(3)「ウィルス感染症に関する研究」	井上雅美（大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科） 研究期間：平成 23 年 10 月～24 年 3 月
(4)「シリコンが皮膚に与える免疫学反応について」	細川　亙（大阪大学医学研究科形成外科学） 研究期間：平成 23 年 10 月～24 年 10 月
(5)「抗ヒスタミン薬増量効果の基礎的・臨床的検証」	宮地良樹（京都大学医学研究科皮膚生命科学） 研究期間：平成 24 年 1 月～25 年 3 月
(6)「WTI を標的にした癌の免疫療法の開発」	杉山治夫（大阪大学医学研究科　機能診断学） 研究期間：平成 23 年 12 月～25 年 3 月
(7)「ロイコトリエン拮抗薬＋吸入ステロイド薬併用療が無効な小児中等症・重症気管支喘息症例に対する IPD ＋吸入ステロイド薬併用療法の有用性に関する検討」	錦戸知喜（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 研究期間：平成 24 年 1 月～27 年 1 月
2）アレルギー関連学会の共催 第 12 回日本呼吸器学会近畿支部「呼吸の日」（共催）	日時：平成 23 年 5 月 8 日 場所：兵庫県医師会館 参加人数：約 100 名
2．研修会事業 (1) アレルギー研修会 2011「大阪」（主催） 日時：平成 23 年 10 月 1 日（土） 場所：大阪府（大阪府医師会館） 参加人数：190 名	座長：川瀬一郎（日本アレルギー協会関西支部支部長） 講演 1：片山一朗（大阪大学医学研究科皮膚科学） 「かゆみを伴う皮膚疾患の治療」 講演 2：大橋淑宏（アクティ大阪 耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎の治療」
(2)奈良アレルギー研修セミナー 2012(共催) 日時：平成 24 年 2 月 18 日（(土） 場所：奈良県（ホテル日航奈良） 参加人数：56 名	総合司会：村木正人（日本アレルギー協会関西支部幹事） 講演 1：座長：村木正人（近畿大学医学部奈良病院） 山田秀和（近畿大学医学部奈良病院皮膚科）） 「食物アレルギー：とくに加水分解小麦による即時型アレルギーを含む」 講演 2：座長：村木正人（近畿大学医学部奈良病院） 南部光彦（天理よろず相談所病院 小児科） 「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2012 改訂のポイント」

実　施　事　業	概　　要
	講演 3：座長：中島重徳（近畿大学医学部奈良病院） 荻野　敏（大阪大学医学系研究科保健学専攻） 「労働生産性を考慮した花粉症治療」
3．研究会事業 (1) 第11回小児科医のための喘息治療フォーラム（共催） 日時：平成23年6月18日（土） 場所：大阪府（梅田スカイタワーウエスト） 参加人数：143名	座長：木野　稔（中野こども病院） 一般演題１：吉田　晃（日本赤十字社和歌山医療センター） 「喘息と診断・治療された百日咳の一例」 一般演題２：岡本奈美（済生会吹田病院小児科） 「心臓喘息の症例」 一般演題３：錦戸知喜（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「声帯機能不全（VCD）の一例」 特別講演：座長：亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 荒川浩一（群馬大学医学系研究科小児科学） 「小児喘息の診断における問題点」
(2) 第13回南大阪呼吸器フォーラム（共催） 日時：平成23年6月25日（土） 場所：大阪府（リーガロイヤル堺） 参加人数：54名	セッション１：座長：岡崎　浩（植木病院） 小林岳彦（市立岸和田病院呼吸器アレルギー科） 「無症状喫煙者でも既に肺構造の破壊、肺機能の低下を認める：当院禁煙外来での検討」 太田加与（市立堺病院呼吸器内科） 「堺市医師会地域連携クリニカルパス：COPD」 特別講演：座長：長坂行雄（近畿大学医学部堺病院） 興梠博次（熊本大学呼吸器内科） 「喘息・COPDおよび類似疾患の診断と治療：外来診療のポイント」
(3) 第12回小児・成人喘息フォーラム（共催） 日時：平成23年7月2日（土） 場所：大阪府（アプローズタワー13階） 参加人数：27名	座長：村田卓士（大阪医科大学小児科） 講演 1：細井慶太（市立伊丹病院呼吸器内科） 「ステロイド以外の喘息治療薬について」 座長：藤田一彦（大阪医科大学呼吸器内科） 講演 2：大田和美（洛和会音羽病院小児科） 「喘息治療における非ステロイド薬の位置付け―最近の話題―」
(4) 第49回気管支喘息勉強会（共催） 日時：平成23年7月23日（土） 場所：大阪府（梅田スカイビル） 参加人数：51名	司会：村田卓士（大阪医科大学） 福田優子（福田クリニック） 一般演題 1：南部光彦（天理よろず相談所病院小児科） 「喘息ガイドラインによる治療の変遷」 一般演題 2：亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「急性発作の管理」 一般演題 3：井上壽茂（住友病院小児科） 「長期管理」 特別講演：濱崎雄平（佐賀大学医学部小児科学） 「小児気管支喘息の治療と管理：JPGL改訂に向けての論点」

実　施　事　業	概　　要
(5) 日本喘息・COPD フォーラム近畿第１回大会（共催） 日時：平成 23 年 8 月 27 日（土） 場所：大阪府（リーガロイヤルホテル大阪） 参加人数：254 名	Opening：東田有智（近畿大学医学部） 小児 Astma Session： 座長：井上壽茂（住友病院小児科） 南部光彦（天理よろず相談所病院小児科） 一般演題 1：岡藤郁夫（神戸市立医療センター中央市民病院小児科） 「小児の喘息治療と行動科学〜続かないのには訳がある」 一般演題 2：末廣　豊（大阪府済生会中津病院小児科） 「小児喘息における配合剤の位置付け」 成人 Asthma Session： 座長：石原享介（神戸市立医療センター西市民病院） 木村　弘（奈良県立医科大学） 一般演題 1：岩永賢司（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 「高齢者喘息の治療戦略」 一般演題 2：西村善博（神戸大学医学部呼吸器内科） 「兵庫県における喘息死ゼロへの取り組み」 COPD Session： 座長：一ノ瀬正和（和歌山県立医科大学） 平田一人（大阪市立大学医学研究科） 一般演題 1：室　繁郎（京都大学医学研究科呼吸器内科学） 「安定期 COPD の薬物治療」 一般演題 2：富井啓介（神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器内科） 「COPD Assessmennt Test（CAT）使用の実態」 Closinng：三嶋理晃（京都大学大学院医学研究科）
(6) 第 6 回奈良小児喘息セミナー（共催） 日時：平成 23 年 10 月 1 日（土） 場所：奈良県（奈良ロイヤルホテル） 参加人数：35 名	座長：櫻井嘉彦（奈良県立三室病院）） 一般演題 1：盛　礼子　他（天理よろず相談所病院小児科） 「副鼻腔炎を有し肺炎を繰り返した気管支喘息の 1 例」 一般演題 2：清益功浩（大和高田市民病院小児科） 「奈良県下医療機関における模擬症例提示でのアンケート調査の結果推移」 特別講演：座長：南部光彦（天理よろず相談所病院） 大嶋勇成（福井大学医学部病態制御医学講座小児科） 「小児喘息の多様性と長期管理」
(7) 第 5 回豊能小児喘息講演会（共催） 日時：平成 23 年 10 月 1 日（土） 場所：大阪府（千里ライフサイエンス） 参加人数：44 名	座長：山上文良（山上小児クリニック） 一般演題 1：藤川泰弘（ふじかわ小児科） 「乳幼児の Virus wheezers への短期吸入療法の経験」 一般演題 2：田中一樹（吹田市民病院小児科） 「治療に難渋している非アトピー型喘息―乳児喘息その後―」 特別講演：座長：牧　一郎（市立池田病院） 井上壽茂（住友病院小児科） 「乳幼児喘息治療のポイント―自験例を通して―」

実　施　事　業	概　　要
(8) 北摂呼吸器疾患吸入フォーラム 第1回学術講演会（共催） 日時：平成23年10月8日（土） 場所：大阪府（千里ライフサイエンス） 参加人数：60名	テーマ「喘息とCOPDのオーバーラップシンドローム」 司会：竹中英昭（済生会吹田病院） テーマ 1：三木啓資（刀根山病院呼吸器内科） 「COPDの動的病態」 テーマ 2：長　澄人（大阪府済生会吹田病院） 「喘息の呼吸音（聴診所見）」 特別講演：座長：前倉亮治（国立病院機構刀根山病院） 永井厚志（東京女子医科大学第一内科） 「COPDと喘息の病態を再考する ～Overlap Airway Syndromeの認識～」
(9) 第17回南大阪小児アレルギーカンファレンス（SOPAC）（共催） 日時：平成23年10月13日（木） 場所：大阪府（大阪南医療センター） 参加人数：22名	座長：橋爪孝雄（国立病院機構 大阪南医療センター） 演題 1：高岡有里（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 「食物経口負荷試験で強い誘発症状をきたした症例に関する検討」 座長：小野　厚（済生会泉尾病院） 演題 2：村上佳津美（近畿大学医学部堺病院小児科）
(10) アレルギー疾患　基礎と臨床の最前線（共催） 日時：平成23年10月22日（土） 場所：大阪府（ウェスティンホテル大阪） 参加人数：73名	座長：片山一朗（大阪大学医学系研究科） 講演 1：末廣　豊（大阪府済生会中津病院小児科） 「第2世代抗ヒスタミン薬は、アレルギーマーチを予防できるか？」 講演 2：久保伸夫（大阪歯科大学耳鼻咽喉科学） 「カプサイシンによる鼻過敏症治療」 講演 3：大塚篤司（京都大学医学系研究科皮膚科学） 「IL3Iによるアトピー性皮膚炎の新たなメカニズム」 講演 4：熊ノ郷淳（大阪大学医学系研究科内科学講座） 「セマフォリンによる免疫抑制～アレルギー疾患との関連を中心に～」
(11) 堺小児アレルギー研究会（共催） 日時：平成23年11月5日（土） 場所：大阪府（リーガロイヤルホテル堺） 参加人数：51名	セッション 1：マイラン製薬株式会社 「アナフィラキシーショックの治療について」 川村尚久（大阪労災病院小児科） 「ロタウィルスワクチンについて」 セッション 2：座長：池田和茂（いけだこどもクリニック） 今井孝成（国立病院機構相模原病院小児科） 「食物アレルギーによるアナフィラキシー」
(12)第32回近畿アトピー性皮膚炎談話会(共催) 日時：平成23年11月5日（土） 場所：大阪府（住友クラブ） 参加人数：48名	座長：小林信彦（奈良県立医科大学） 一般演題 1：高橋　彩　他（大阪大学皮膚科学） 「アトピー性皮膚炎患者での発汗機能と皮膚バリア機能との関連性に関する検討」 一般演題 2：飯田秀之　他（奈良県立奈良病院皮膚科） 「樹状細胞およびCD4＋T細胞に及ぼす抗アレルギー薬の効果」 一般演題 3：佐藤健二（阪南中央病院皮膚科） 「脱保湿と抗生剤で略治した、ビラン性丘疹結節性皮膚症類似病変を伴ったアトピー性皮膚炎の一例」

実　施　事　業	概　　要
	座長：片山一朗（大阪大学医学系研究科） 教育演題 1：加藤則人（京都府立医科大学皮膚科学） 「アトピー性皮膚炎の病態と血小板」 教育演題 2：片岡葉子（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科） 「TARC の登場とアトピー性皮膚炎治療のブレイクスルー」 教育演題 3：室田浩之（大阪大学医学系研究科皮膚科学） 「日常診療のヒントから学ぶ『痒み』誘因の多様性」 座長：浅田秀夫（奈良県立医科大学） 特別講演：秋山真志（名古屋大学医学系研究科皮膚科学） 「アトピー性疾患と皮膚角層のバリア障害」
(13) 第 20 回　Kinki Chest Club（共催） 日時：平成 23 年 11 月 5 日（土） 場所：大阪府（ホテルモントレグラスミア大阪 参加人数：88 名	司会：平田一人（大阪市立大学制御学研究科） 特別講演：巽浩一郎（千葉大学医学研究呼吸器内科） 「COPD 治療の現状と課題」 司会：東田有智（近畿大学医学部） 特別講演：相良博典（獨協医科大学越谷病院呼吸器内科） 「気管支喘息の病態から考える今後の治療展望」
4．講演会・講習会事業 (1) 第 67 回臨床アレルギー講習会（共催） 日時：平成 23 年 6 月 25 日（土） 場所：大阪府（大日本住友製薬本社ビル） 参加人数：75 名	総合司会：東田有智（近畿大学医学部） 座長：久米裕昭（近畿大学医学部） セッション 1 1）辻　文生（吹田市民病院呼吸器アレルギー内科） 「吹田市での吸入指導に対する取り組み」 2）朝田裕貴　他（橋本市民病院呼吸器内科） 「Bullous emphysema with asthma に難治性気胸を合併した一例」 3）花田宗一郎　他（近畿大学医学部奈良病院呼吸器内科） 「咽頭・頬部・頚部腫脹を呈した好酸球増多症の一例」 4）河村尚幸　他（近畿大学医学部呼吸器アレルギー内科） 「慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息の鑑別診断における、喀痰中好酸球、および気道過敏性試験の有用性―新しい病型の可能性」 5）小林大起　他（大阪市立大学医学研究科呼吸器内科学） 「未治療喘息患者における呼気中一酸化窒素（FeNO）と中枢・末梢気道炎の評価法についての検討」 セッション 2 座長：亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 6）高岡有里　他（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 「当院における入院での食物経口負荷試験のまとめ」 7）平口雪子　他（大阪府済生会中津病院小児科） 「鶏卵アレルギー児へのインフルエンザワクチン接種の現状―接種医へのアンケート調査から―」 8）吉川真紀子　他（当科で経験した、新生児―乳児消化管アレルギーの 3 例） 9）吉岡　希　他（近畿大学医学部奈良病院皮膚科） 「カポジ水痘様発疹を繰り返す乳児アトピー性皮膚炎の 1 例」

実　施　事　業	概　　要
	シンポジウム：「アレルギー疾患診療医間のパートナーシップの向上〜総合アレルギー医を目指して〜」 司会：久米裕昭（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 山田秀和（近畿大学医学部奈良病院皮膚科） 内科医の立場から：　加藤元一（市立岸和田病院内科） 小児科医の立場から：　住本真一（大阪赤十字病院小児科） 皮膚科医の立場から：　大磯直毅（近畿大学医学部皮膚科） 耳鼻咽喉科医の立場から：増田佐和子（国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科）
(2) 第68回臨床アレルギー研究会（共催） 日時：平成23年12月10日（土） 場所：大阪府（大日本住友製薬本社ビル） 参加人数：94名	セッション1 座長：片岡葉子（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 1）林　美沙　他（日本生命済生会付属 日生病院皮膚科） 「トニックウォーターによる固定疹」 2）白山純実　他（大阪警察病院皮膚科） 「ロイコトリエン拮抗薬服用中に発症したChurg-Strauss症候群の一例」 3）吉岡詠理子　他（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科） 「加水分解小麦を含有する洗顔石鹸の使用により発症した小麦アレルギーの13例」 4）河本光平　他（関西医科大学香里病院耳鼻咽喉科） 「セルフチョイス型問診表を用いた花粉症患者の治療とその満足度」 5）久保伸夫（大阪歯科大学耳鼻咽喉科） 「遅延型アレルギー疾患における抗原特異的IgG抗体の検索」 6）春名威範　他（姫路聖マリア病院耳鼻咽喉科） 「2011年大量飛散年におけるスギ・ヒノキ花粉患者への初期療法の検討」 セッション2 座長：南部光彦（天理よろず相談所病院） 7）竹村　豊　他（近畿大学医学部小児科学） 「当院で経験した魚アレルギーの2例」 8）南部光彦（天理よろず相談所病院小児科） 「小児喘息のアンケート調査結果」 9）吉田之範　他（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「小児におけるフルチカゾンドライパウダーとブデソニドドライパウダーの同等性について」 10）川上智子　他（住友病院小児科） 「好酸球性肺炎発症後、喘息様症状を反復した一例」 11）海老島優子　他（大阪府済生会中津病院小児科） 「医師、エデュケーター、臨床心理士のチームによる患者教育・指導の効果」

実　施　事　業	概　　要
	セッション３ 座長：小牟田清（大阪警察病院） 12）木庭太郎　他（大阪警察病院呼吸器科呼吸器外科） 「大阪警察病院におけるブデソニド / ホルモテロール処方症例の検討」 13）福島清春　他（西宮市立中央病院呼吸器内科） 「免疫グロブリン大量療法が神経症状に著効した Chug-Strauss 症候群の一例」 14）金澤　博　他（大阪市立大学呼吸器病態制御内科学） 「喘息における末梢気道病変を反映する新規バイオマーカーの有用性の検証」 15）吉村千恵　他（大阪赤十字病院呼吸器科） 「喘息死ゼロ作戦に対する一般病院で可能な対策について」 16）井上英樹　他（京都大学医学研究科呼吸器内科学） 「安定期喘息患者における誘発喀痰中好酸球比率と CT で評価した中枢気道壁肥厚との関連」 17）塩谷拓嗣　他（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 「ICS/LABA による気管支喘息のトータルコントロール実現の可能性」 18）竹内美子　他（大阪警察病院呼吸器科 呼吸器外科） 「IgG4 関連肺疾患の 2 症例」 座長：東田有智（近畿大学医学部） 特別講演：熊ノ郷淳（大阪大学医学系研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学） 「セマフォリンによる免疫抑制―セマフォリンは疾患の鍵分子―」
５．啓発活動事業 １）第 18 回アレルギー週間 (1) 市民公開講座 in 奈良 日時：平成 24 年 2 月 4 日（土） 場所：奈良県（秋篠音楽堂） 参加人数：73 名	市民公開講座・相談会（患者等一般市民向け） テーマ「アレルギー上手につき合おう」 総合司会：村木正人（近畿大学医学部奈良病院） 講演 1：中井義紀（近畿大学医学部奈良病院　耳鼻科） 「花粉症とうまくつき合おう：どんな病気？どんな症状？どんな治療？」 講演 2：山田秀和（近畿大学医学部奈良病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎について」 司会：中島重徳（近畿大学医学部奈良病院） 講演 3：南部光彦（天理よろず相談所病院小児科） 「小児ぜん息と上手につき合おう」 Ｑ＆Ａコーナー
(2) 市民公開講座 in 大阪 日時：平成 24 年 2 月 11 日（土） 場所：大阪府（朝日生命館） 参加人数：72 名	テーマ「アレルギーってなあに？鼻のアレルギー、こどものアレルギー」 総合司会：川瀬一郎（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 講演 1：朝子幹也（関西医科大学耳鼻咽喉科） 「2012 年花粉症の傾向と対策」 講演 2：末廣　豊（大阪府済生会中津病院小児科・免疫・アレルギーセンター） 「こどものぜんそく」 Ｑ＆Ａコーナー：田中敏郎（大阪大学医学研究科呼吸器免疫アレルギー内科）

実　施　事　業	概　　要
(3) 市民公開講座 日時：平成 24 年 2 月 18 日（土） 場所：兵庫県（兵庫県民会館） 参加人数：71 名	テーマ「アレルギーとうまくつきあおう」 総合司会：石原享介（神戸市立医療センター西市民病院） 第Ⅰ部：土井清司（神戸大学医学研究科耳鼻咽喉科） 「知っておこう、鼻炎の薬」 第Ⅱ部：富井啓介（神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器内科） 「喘息がよくならないときに考えたい 5 つのポイント」 Ｑ＆Ａコーナー
(4) 第 8 回滋賀アレルギーフォーラム 日時：平成 24 年 2 月 19 日（日） 場所:滋賀県(滋賀県立県民交流センター) 参加人数：74 名	テーマ「せきとゼイゼイ 良くなるために！」 総合司会：野々村和男（守山市民病院） 第 1 部：松原由歩（滋賀医科大学　耳鼻咽喉科学） 「滋賀県の 2012 年春季花粉飛散予測」 第 2 部：夏原　厚（守山市民病院小児科） 「アレルギー性結膜炎とアトピー性皮膚炎による眼疾患」 第 3 部：中野恭幸（滋賀医科大学呼吸器循環器内科） 「大人のせきと息切れ」 第 4 部：「しつもん（Ｑ＆Ａ）の時間」
(5) 市民公開講座 日時：平成 24 年 2 月 26 日（日） 場所：和歌山県（県民交流プラザ） 参加人数：42 名	テーマ「アトピーと花粉症」 総合司会：古川福実（和歌山県立医科大学） 講演 1：辻岡　馨（日本赤十字社和歌山医療センター皮膚科） 「アトピー性皮膚炎の『なぜ？』」 講演 2：榎本雅夫（NPO 法人日本健康増進支援機構） 「自分でできる花粉症対策」 Ｑ＆Ａコーナー
2 ）医師向け	
(1) 第 50 回気管支喘息勉強会（共催） 日時：平成 24 年 1 月 28 日（土） 場所：大阪府（帝人ビル） 参加人数：49 名	テーマ「喘息治療の新たな展開（JPGL2012 への期待）」 司会：谷内昇一郎（関西医科大学） 末廣　豊（大阪府済生会中津病院） 講演 1：亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「ガイドライン作成委員会の立場から」 講演 2：亀崎佐織（かめさきこども・アレルギークリニック） 「年長児喘息の長期管理〜治療はやめられるか〜」 講演 3：関田　恵（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2012 を読んでみて」 講演 4：中野稲子（京都洛和会音羽病院小児科） 「非専門医の立場から」
(2) 南大阪アレルギ―性鼻炎セミナ―（共催） 日時：平成 24 年 1 月 21 日（土） 場所：大阪府（リーガロイヤルホテル堺） 参加人数：49 名	座長：蔦　佳明（堺市医師会耳鼻咽喉科医会） 特別講演Ⅰ：太田伸男（山形大学医学部耳鼻咽喉科） 「One Airway One Disease としてのアレルギー性鼻炎」 特別講演Ⅱ：井上壽茂（住友病院内科系診療局長兼小児科） 「小児の慢性咳嗽―小児アレルギー疾患診療の立場から―」
(3) 耳鼻咽喉科フォーラム 2012（共催） 日時：平成 24 年 2 月 2 日（木） 場所：大阪府（ウェスティンホテル大阪） 参加人数：59 名	座長：久保伸夫（大阪歯科大学　耳鼻咽喉科） 講演 1：榎本雅夫（NPO 日本健康増進支援機構） 「今年の花粉飛散とその対応」 講演 2：宮崎総一郎（滋賀医科大学睡眠講座） 「鼻呼吸と睡眠」

実　施　事　業	概　　要
(4) 第18回アレルギー週間学術講演会 （共催） 日時：平成24年2月23日（木） 場所：和歌山県（ガーデンホテルハナヨ） 参加人数：17名	司会：古川福実（和歌山県立医科大学） 総合司会：井上千津子（晒医院） 特別講演Ⅰ：池田浩乙（日本赤十字社和歌山医療センター耳鼻咽喉科部） 「鼻アレルギー領域における抗ヒスタミン薬の現状と実情」 特別講演Ⅱ：古川福実（和歌山県立医科大学皮膚科） 「新しい蕁麻疹ガイドライン―かゆい所に手が届く解説」
(5) 第13回京都アレルギークロストーク （共催） 日時：平成24年3月1日（木） 場所：京都府（メルパルク京都） 参加人数：88名	座長：平家俊男（京都大学医学研究科） 特別講演Ⅰ：椛島健治（京都大学医学研究科皮膚科） 「皮膚を中心としたアレルギーの最近の話題」 座長：久　育男（京都府立医科大学医学研究科） 特別講演Ⅱ：川内秀之（島根医科大学耳鼻咽喉科学） 「スギ花粉症の病態と治療―from our bench to clinic―」
(6) 第8回アレルギーネットワーク（共催） 日時：平成24年3月1日（木） 場所：大阪府（天王寺都ホテル） 参加人数：30名	座長：水野信之（大阪市立大学医学研究科） 講演 1：若原良平（大阪市立大学医学研究科発達小児医学） 「小児外来診療における抗ヒスタミン薬の選択」 講演 2：立石千晴（大阪市立大学医学研究科皮膚病態学） 「皮膚アレルギー疾患の診断・治療の現状」 座長：金澤　博（大阪市立大学医学研究科） 特別講演：横山彰仁（高知大学医学部血液・呼吸器内科） 「気管支喘息診療の現在・過去・未来」
(7) 第8回京都臨床アレルギー研究会 （共催） 日時：平成24年3月6日（火） 場所：京都府（芝欄会館） 参加人数：29名	座長：松本久子（京都大学医学研究科） 一般演題 1：大塚篤司（京都大学医学研究科皮膚科学） 「the role of basophils in ski Th2 response using a newlygeneratedbasophil-specificconditional depletionmodel」 一般演題 2：柴田洋史（田附興風会医学研究所北野病院） 「生後19日目に発熱、炎症反応高値を認め、新生児ミルクアレルギーと診断した一例」 一般演題 3：岩田敏之（京都大学医学研究科呼吸器内科学） 「線毛運動異常をもつTTLL1-KOマウスは後鼻漏により自発的に咳をする」 座長：三嶋理晃（京都大学医学研究科） 特別講演：玉利真由美（理化学研究所横浜研究所ゲノム医科学研究センター呼吸器疾患チーム） 「アレルギー疾患のゲノムワイド関連解析の現況」
(8) 第11回関西膠原病フォーラム（共催） 日時：平成24年3月17日（土） 場所：京都府（メルパルク京都） 参加人数：103名	座長：吉川秀樹（大阪大学医学系研究科） 特別講演 1：高杉　潔（道後温泉病院） 「関節リウマチの第一歩は局所解剖を良くわきまえた触診法で全身の腫脹関節を自分の手で確認すること」 座長：三森経世（京都大学医学研究科） 特別講演 2：山本俊幸（福井県立医科大学皮膚科学） 「関節リウマチ・シェーグレン症候群の皮膚症状」 座長：川人　豊（京都府立医科大学） 特別講演 3：持田　智（埼玉医科大学消化器病内科・肝臓内科） 「免疫抑制療法によるB型肝炎の再活性化」

実　施　事　業	概　　要
3）一般向け 喘息児童の自然に触れ合う野外教室 （共催） 平成 23 年 5 月～平成 24 年 2 月まで日帰り又は 2 泊 3 日の日程で年 4 回実施	主催：大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科主任部長　土居　悟 第 1 回：平成 23 年 5 月 22 日 大阪市立信太山青少年野外活動 S：参加児 32 名 第 2 回：平成 23 年 8 月 26 日～28 日 大阪府立青少年海洋 S：参加児 39 名 第 3 回：平成 23 年 11 月 27 日 二上山（登山）：参加児 34 名 第 4 回：平成 24 年 2 月 19 日 大阪府立少年自然の家：参加児 33 名
6．その他（会議等） 第 1 回関西支部幹事会 日時：平成 23 年 6 月 22 日 場所：ホテルグランヴィア 出席者：8 名	主たる議題 1）支部新役員（幹事）選挙結果報告並びに新役員承認 2）関西支部規約（案）承認 3）関西支部研究助成内規（案）承認 4）正会員拡大に対する支部としての実施計画の検討

中国支部

（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究会事業 (1) 第 8 回岡南玉野アレルギーセミナー 日時：平成 23 年 5 月 25 日（水） 場所：岡山労災病院 参加人数：約 40 名	特別講演 I 尾長谷靖（川崎医科大学呼吸器内科） 「アレルギー疾患の最近の話題―気管支喘息を中心として―」
(2) 第 19 回岡山アレルギーを考える会 日時：平成 23 年 5 月 29 日（日） 場所：岡山コンベンションセンター 参加人数：約 40 名	講演 I 齋藤勝剛（水島第一病院 / 津山中央病院） 「最新の喘息治療法について」 講演 II 難波弘行（松山大学薬学部） 「患者吸入指導のポイント　～吸入療法とデバイス操作法～」
(3) 第 7 回中国・四国喘息研究フォーラム 日時：平成 23 年 9 月 3 日（土） 場所：ホテルグランヴィア岡山 参加人数：約 50 名	特別講演 I 松原　篤（弘前大学耳鼻咽喉科） 「好酸球性中耳炎の病態と治療 ～ one airway, one disease ～」 特別講演 II 塚原宏一（岡山大学小児科） 「小児科領域における酸化ストレス関連疾患とその評価法」 特別講演 III 山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 「気管支喘息のステロイド吸入療法－早期介入の重要性－」
(4) 第 23 回中国・四国臨床アレルギー研究会 日時：平成 23 年 9 月 4 日（日） 場所：岡山国際交流センター 参加人数：約 70 名	内容：一般演題、ワークショップ テーマ：「アレルギーの最近の話題」 特別話題 脇口　宏（高知大学小児思春期医学） 「EB ウイルス感染とアレルギー」

実　施　事　業	概　　要
(5) 第 20 回岡山アレルギーを考える会 日時：平成 23 年 11 月 25 日（金） 場所：岡山プラザホテル 参加人数：約 40 名	講演Ⅰ 宇理須厚雄（藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科） 「食物アレルギー診療ガイドライン 2012 のポイント」 講演Ⅱ 有田昌彦（ありた小児科アレルギー科クリニック） 「食物アレルギー児への家庭での対応と家族への教育」
2．啓発活動事業 第 18 回アレルギー週間 (1) 島根県 日時：平成 24 年 2 月 18 日（土） 場所：松江テルサ 参加人数：約 20 名	スギ花粉症講演会 「患者さんのためのスギ花粉症セミナー」 第一部　「2012 年のスギ花粉飛散について」 第二部　川内秀之（島根大学医学部 耳鼻咽喉科） 「小児のスギ花粉症について ～誰でも出来る予防法と治療～」 スギ花粉症についての Q&A コーナー
(2) 広島県 日時：平成 24 年 2 月 19 日（日） 場所：リーガロイヤルホテル広島 参加人数：154 名 個別相談：32 名	アレルギー週間の集い 2012 in 広島 「アレルギーをコントロールしよう ～体質だからとあきらめないで～ －講演会と個別相談会－」 講演 1　高路　修（こうろ皮ふ科） 「アトピー性皮膚炎～かゆみとその対策について」 講演 2　岡畠宏易（JA 広島総合病院小児科） 「食物アレルギー・ぜんそくのお子さんとの付き合い方」 講演 3　保澤総一郎（広島アレルギー呼吸器クリニック） 「ぜんそくの呼吸器療法 Q&A」 講演 4　竹野幸夫（広島大学耳鼻咽喉科） 「花粉症対策のポイント」
(3) 山口県 日時：平成 24 年 2 月 19 日（日） 場所：アパホテル防府 参加人数：約 63 名	アレルギー週間の集い 2012 「こども健康セミナー in 防府市民公開講座」 【セミナーの内容】 コーディネーター 蔵重秀樹（くらしげ小児科） 三戸博志（光山医院小児科） 講演 1　長谷川俊史（山口大学医学部附属病院小児科） 「園・学校保健現場で知っておきたいアレルギー疾患」 講演 2　長谷川真成（山口県立総合医療センター小児科） 「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）って何？」
(4) 岡山県 日時：平成 24 年 2 月 26 日（日） 場所：岡山国際交流センター 国際会議場 参加人数：88 名 個別相談：8 名	県民公開講座「岡山アレルギー疾患講演会」 アレルギー疾患：最新治療と自己管理 講演 1　藤原愉高（国立病院機構南岡山医療センター皮膚科） 「アトピー性皮膚炎：治療するのはあなたです」 講演 2　木村五郎（国立病院機構南岡山医療センターアレルギー科） 「気管支喘息：発作は、こうして予防する」 講演 3　宮原信明（岡山大学呼吸器・アレルギー内科） 「喘息の最新治療：新薬と今後の展望」
3．会議の開催 支部役員会	日時：平成 24 年 3 月 26 日（火） 場所：ホテルグランヴィア岡山

四国支部（支部長　曽根三郎）

（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究会事業 第9回徳島膠原病・リウマチ県民講座 日時：平成23年10月16日 場所：長井記念ホール 参加人数：140名	1）膠原病・関節リウマチの治療 谷　憲治（徳島大学大学院HBS研究部総合診療医学講座） 2）膠原病に対するステロイド治療と注意すべき副作用 河野　弘（徳島大学病院呼吸器・膠原病内科） 3）免疫抑制剤について 豊田優子（徳島大学病院呼吸器・膠原病内科） 4）生物学的製剤について 宮田淳也（三好市立三野病院内科） 5）行政における難病対策について 天野泰輝（徳島県健康増進課感染症・疾病対策室） 6）パネルディスカッション
2．啓発活動事業 第18回アレルギー週間 (1) 徳島アレルギーフォーラム2012 日時：平成24年2月19日 場所：グランドパレス徳島 参加人数：30名	第1部 ミニレクチャー　気管支喘息について 1）内科領域について 河野徹也（かわの内科アレルギー科） 2）小児科領域について 榎本新也（えもとこどもクリニック） 第2部 エピペンとアナフィラキシーについて 患者相談
(2) 香川アレルギーフォーラム2012 日時：平成24年2月18日 場所：香川県社会福祉総合センター 参加人数：32名	講演1「香川県の喘息死について」 山本晃義（高松赤十字病院 呼吸器科） 講演2「成人気管支喘息について」 六車博昭（高松赤十字病院 呼吸器科） 講演3「気管支喘息の薬について」 木村友美（高松赤十字病院 薬剤部） 質疑応答あり
(3) 高知アレルギーフォーラム2012 日時：平成24年2月19日 場所：総合あんしんセンター 参加人数：34名	講演：アレルギーの予防と治療 本淨晃史（高知赤十字病院呼吸器科） 「ぜんそく」 小倉英郎（国立病院機構高知病院小児科） 「食物アレルギー」 多田憲太郎（高知大学医学部附属病院眼科） 宮崎かつし（高知赤十字病院耳鼻咽喉科） 「花粉症」 アレルギー相談室

九州支部（支部長　西間三馨）

（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
1．研究助成事業 空中花粉調査研究	1）福岡市2ヶ所の耳鼻科医院において、問診表による花粉症発症状況調査。2ヶ所の耳鼻科において、スギ花粉症患者受診数と花粉飛散量との経年関係検討 2）九州各県の大学耳鼻科における九州の空中花粉調査(24年目) 3）花粉情報 福岡県、九州各県花粉情報広報活動 （福岡県医師会、九州各県医師会と日本気象協会福岡本部との共同活動） 新聞、ラジオ、テレビ 4）日本列島の空中花粉分布調査 全国15ケ所で花粉を採取し、福岡病院で算定し、花粉地図、カレンダー作成
2．啓発活動事業 1）第18回アレルギー週間（医師向け） (1) 福岡県（共催） 日時：平成24年2月25日（土） 場所：天神ビル11階 参加人数：64名	（一部）最近の話題、トピックスそのⅠ 座長：久保千春（九州大学病院院長） 講師：小田嶋博（国立病院機構福岡病院副院長） 「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2012のポイント」 宗　信夫（宗耳鼻咽喉科医院院長） 「耳鼻咽喉科における最近の話題と今年の花粉症」 （二部）最近の話題、トピックスそのⅡ 座長：西間三馨（国立病院機構福岡病院名誉院長） 講師：秀　道弘（広島大学医学部皮膚科教授） 「皮膚のアレルギー疾患における最近の話題」 宇理須厚雄（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科教授） 「食物アレルギー診療ガイドライン2011のポイント」
(2) 熊本県（共催） 日時：平成24年2月9日（木） 場所：ホテルニューオータニ熊本 2F「おしどり」 参加人数：91名	座長：伊　浩信（熊本大学生命科学研究部皮膚病態治療再建学教授） 講師：福島　聡（熊本大学生命科学研究部皮膚病態治療再建学講師） 「アトピー性皮膚炎の最新の話題」 座長：興梠博次（熊本大学生命科学研究部呼吸器病態学教授） 講師：井上博雅（鹿児島大学呼吸器内科学教授） 「気管支喘息のUp To Date」 座長：蓑田　涼（熊本大学生命科学研究部頭頸部感覚病態学准教授） 講師：松根彰志（日本医科大学　臨床教授 武蔵野小杉病院耳鼻咽喉科　部長） 「アレルギー性鼻炎・花粉症の病態と治療―最近の話題を中心に―」
(3) 大分県（共催） 日時：平成24年2月4日（土） 場所：大分県労働福祉会館ソレイユ 7F「アイリス」 参加人数：83名	座長：宮崎英士（大分大学医学部地域医療学センター教授） 講師：松永和人（和歌山県立医科大学第三内科講師） 「喘息における気道炎症評価の進歩」 座長：藤原作平（大分大学医学部皮膚科・形成外科学教授） 講師：塩原哲夫（杏林大学医学部皮膚科教授） 「感染症とアレルギー」 座長：鈴木正志（大分大学医学部耳鼻咽喉科教授） 講師：宮崎総一郎（滋賀医科大学睡眠学教授） 「鼻と睡眠」

実　施　事　業	概　　要
(4) 宮崎県（共催） 日時：平成 24 年 2 月 28 日（火） 場所：宮崎観光ホテル東館 2F「初雁」 参加人数：29 名	座長：東野哲也（宮崎大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授） 講師：大久保公裕（日本医科大学耳鼻咽喉科教授） 「最近の花粉症治療と経口減感作療法」
(5) 鹿児島県（共催） 日時：平成 24 年 2 月 2 日（木） 場所：城山観光ホテル 5F「飛天の間」 参加人数：74 名	座長：黒野祐一（鹿児島大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学教授） 井上博雅（鹿児島大学呼吸器内科学教授） 講師：牧瀬高穂（鹿児島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） 「スギ花粉症初期療法におけるロイコトリエン受容体拮抗薬の効果」 猿渡　浩（鹿児島大学皮膚科学） 「重症薬疹の診断と治療」 樋之口洋一（総合病院鹿児島生協病院小児科） 「当院における 2 歳未満呼吸器疾患入院症例の検討〜喘鳴を切り口として〜」 西間三馨（国立病院機構福岡病院名誉院長） 「小児アレルギー疾患総合ガイドライン 2011 のポイント」
(6) 沖縄県（共催） 日時：平成 24 年 3 月 21 日（水） 場所：沖縄ハーバービューホテル クラウンプラザ「白鳳の間」 参加人数：55 名	座長：今西康次（中部徳州会病院小児科） 講師：平良清人（琉球大学皮膚病態制御学助教） 「トニックウオーターによる固定診の 1 例」 仲田昌吾（中部徳州会病院小児科） 「当院小児科における気管支喘息大発作及び呼吸不全の検討」 山下　懐（琉球大学耳鼻咽喉・頭頸部外科助教） 「アレルギー性鼻炎の手術治療」 座長：鈴木幹男（琉球大学耳鼻咽喉・頭頸部外科教授） 講師：大久保公裕（日本医科大学耳鼻咽喉科主任教授） 「花粉症治療の最前線」
2）第 18 回アレルギー週間（一般向け） (1) 福岡市開催（主催） 日時：平成 24 年 2 月 26 日（日） 場所：天神ビル　11F「10 号会議室」 参加人数：約 100 名	—アレルギー・日常生活をより快適に— 岸川禮子（国立病院機構福岡病院アレルギー科医長） 「花粉症」 岩永知秋（国立病院機構福岡病院病院長） 「喘息：成人」 小田嶋博（国立病院機構福岡病院副院長） 「喘息：小児」 内尾英一（福岡大学医学部眼科教授） 「アレルギー性結膜炎」 十川　博（九州中央病院心療内科部長） 「アレルギーとストレス」 質問コーナー 実習コーナー 泉田純子（国立病院機構福岡病院小児アレルギーエデュケーター） 「アトピー性皮膚炎のスキンケアコーナー」 金子恵美（国立病院機構福岡病院小児アレルギーエデュケーター） 「喘息の吸入方法と質問コーナー」

実　施　事　業	概　　要
(2) 鹿児島市開催（共催） 日時：平成 24 年 3 月 4 日（日） 場所：鹿児島県医師会館 3 階 中ホール 参加人数：57 名	「第 5 回耳の日ならびにアレルギー週間公開講座」 ―耳と鼻の健康とセルフケアー 第Ⅰ部 講師：黒野祐一（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科教授） 「耳のしくみと働き」 宮之原郁代（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科） 「難聴・耳鳴りと補聴器装用のコツ」 第Ⅱ部 講師：大堀純一郎（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科） 「正しく知ろう！アレルギー性鼻炎」
3）喘息市民公開講座（共催） 日時：平成 23 年 7 月 31 日（日） 場所：大分東洋ホテル 2F「二豊の間」 参加人数：109 名	講師：宮崎英士（大分大学医学部地域医療学センター教授） 「喘息（ぜんそく）のより良いコントロールを目指して～ 最新の治療と予防～
4）第7回福岡病院　アレルギー・喘息教室」（共催） 日時：平成 23 年 11 月 5 日（土） 場所：国立病院機構福岡病院 研修・情報センター 1 階 CR4 参加人数：約 70 名	座長：下田照文（国立病院機構福岡病院臨床研究部長） 講師：本村知華子（国立病院機構福岡病院小児科医長） 「小児の食物アレルギー負荷試験」 岸川禮子（国立病院機構福岡病院福岡病院アレルギー科医長） 「美容石鹸でアナフィラキシーがおこる！？」
5）アレルギー談話室	1,694 回（平成 24 年 3 月 25 日）